

米沢城跡 散策マップ ver.01

享和2年（1802）の米沢城の絵図「松崎城堞図」（米沢市上杉博物館蔵）に、現在のどのあたりにあたるか【施設名、目印など】を記しました（位置の対照はあくまで大凡の推定です）。この図を手⑪に、米沢城跡を散策しましょう。上杉博物館のショップでは、「松崎城堞図」の鮮明な大判複製 や 特別展「上杉家の御殿」図録 を販売中！

本丸側

A 大橋 ⇒【舞鶴橋】
幅約1.8m、長さ約36mの木製の橋。城内で火事が起きた際は、藩主がこの辺で指揮を執った。

B 太鼓門 ⇒【上杉謙信像】
本丸正面にあたる櫓門。幅は約14.5m、高さは4.7m以上あった。

C 本丸御殿・玄関 ⇒【米沢観光コンベンション協会】
からはふやね
唐破屋風根で、玄関を上がると、西側には警備にあたる中・下級藩士の詰の間があった。

D 本丸御殿・書院跡 ⇒【上杉神社 二の鳥居】
つなのり
4代藩主綱憲により設置。表御座の間に次ぐ座敷だったが、上杉鷹山の改革により撤去された。

E 本丸御殿・常御殿 ⇒【上杉神社 拝殿前参道】
藩の中核。表御座の間（最高位の大広間）や、内御座の間（藩主の執務室）があった。

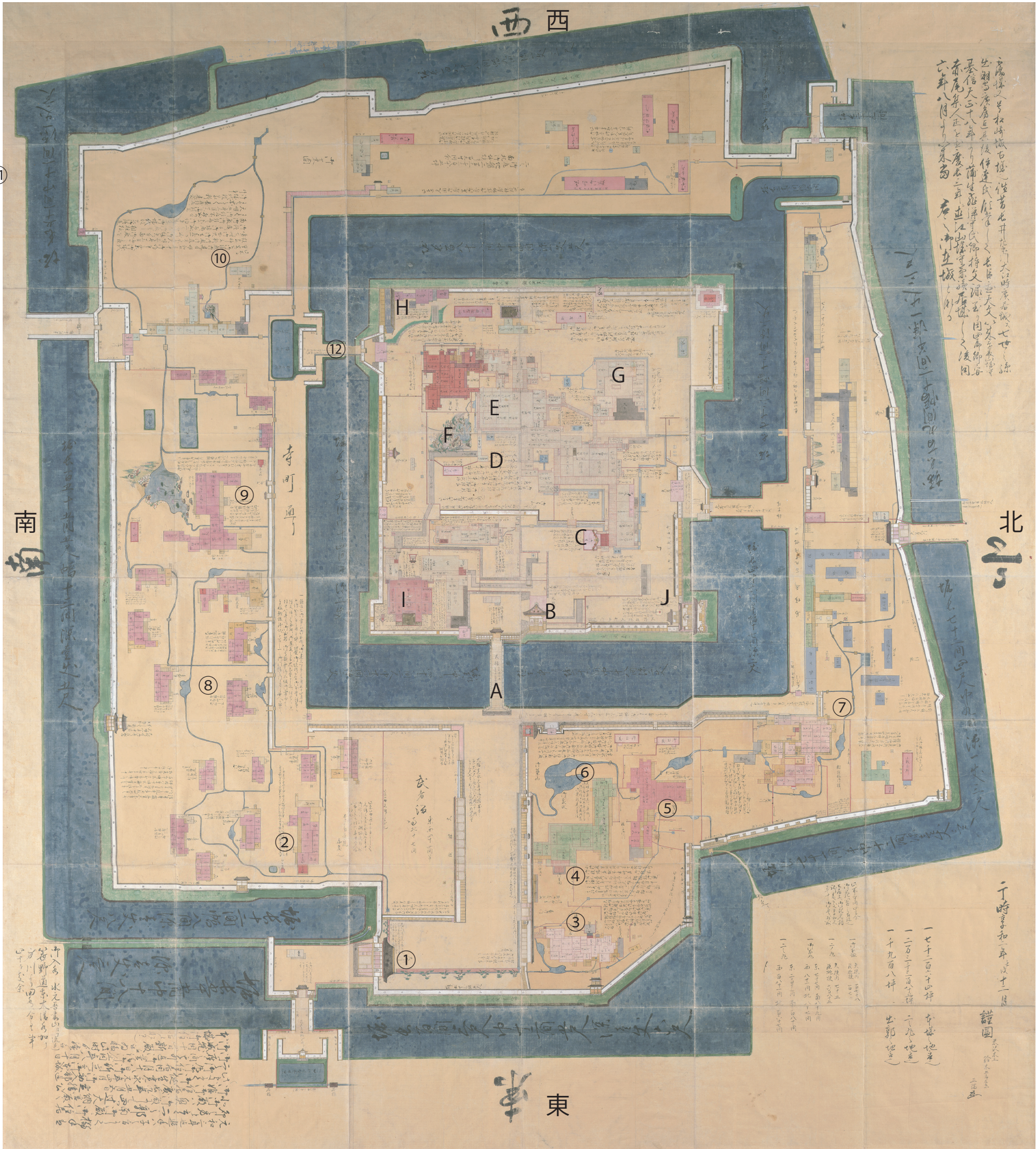
F 本丸御殿・庭園 ⇒【上杉神社 南側庭園】
表御座の間から望む、池泉と築山を備えた回遊式の庭があった。

G 本丸御殿・御台所 ⇒【上杉神社 稽照殿】
各御殿をはじめ、城内各所への食糧や燃料の管理と供給を担った。

H 角の御蔵 ⇒【春日神社】
すみ おくら
上杉家伝来の文書や刀剣などを収めた宝物蔵。北側には御金蔵、御能蔵があった。

I 御堂 ⇒【招魂碑】
みどう
上杉家の家祖・謙信を祀る寺院。参拝路は本丸御殿側（西）にあった。

J 東御三階櫓 ⇒【従三位上杉曦山公之碑】
やぐら ぎざんこう
米沢城の象徴でもあった櫓。最上階には祈禱に用いる護摩壇があった。



二の丸側

①大御門 ⇒【伝国の杜東側 ポスト附近】
城の正面にあたる東側の櫓門。高さは5m以上。

②二の丸南東・寺院群、堀 ⇒【伝国の杜・米沢市上杉博物館】
御堂（左側I参照）に仕える寺院と、南東の堀、御入水（本丸への水路）などがあった。

③米沢新田藩主家御住居 ⇒【上杉城史苑】
上杉家の分家（1万石）の屋敷。南側（現在の参道側）には表長屋があった。

④二の丸 南御殿・玄関 ⇒【べに花庵】
本丸御殿に次ぐ格式の御殿。当時は、元8代藩主重定の隠居御殿。

⑤二の丸 北御殿⇒【松岬第二公園のうち北側】
二の丸東側の御殿のうち、妻の住んだ奥御殿。

⑥二の丸 南御殿・庭園 ⇒【松岬神社】
築山と泉水があった。初代藩主景勝時代はこの近辺に御殿があったという。

⑦上杉勝熙邸・御作事屋 ⇒【おまつり広場駐車場】
勝熙は重定の長男。北側の作事屋はお抱えの大工や職人の作業場。北東角は御兵具所（武器庫）。

⑧妙観院・蔵王堂他 ⇒【上杉伯爵邸】
二の丸の南側には、御堂に仕える真言宗寺院が立ち並んでいた。

⑨法音寺 ⇒【米沢市座の文化伝承館】
上杉家の菩提寺。南側には広大な庭園があった。

⑩城代屋敷（重定の隠居御殿跡） ⇒【米沢市児童会館の西側、住宅地】
一時、重定の隠居御殿「新御殿」があった。

⑪上杉鷹山隠居御殿 ⇒【さんかかん餐霞館遺跡（公園）】
本図の範囲外。鷹山は隠居後も、この場所から改革を支え続けた。

⑫菱門橋 【菱門橋】
ひしもんばし
本丸の奥御殿に近く、使用は上杉家一族や重臣、近習などに制限された。「秘門」とも。

「松崎城堞図」と楽しむ！

米沢城跡 散策マップ 第1版

発行日 2025年6月5日

編集・発行 米沢市上杉博物館
米沢市丸の内1-2-1

伝国の杜
公式 HP

